
犬鬼人随想録 ～蒼き牡丹外伝～

皆麻 兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

犬鬼人随想録 蒼き牡丹外伝

【Nコード】

N9061X

【作者名】

皆麻 兎

【あらすじ】

「里見八犬伝」の主役とも言える八人の犬士達。

彼らは、一人の少女との出会いで、それぞれの旅に多くの可能性を持ち始める事となる。その名は三木狭子^{みききょうこ}。500年以上先の未来から来たという彼女は犬士達と旅をし、最終的には犬塚信乃と結ばれる事になる。一方で、犬士達に限らず、彼女の周囲に現れる人物にも何かしら影響を与える事となる。

これは、犬士を含むいろんな者達が、彼女とかかわった事を思い出し、それを記した記録であった

これは、2011年6月に完結した『八犬伝異聞録 蒼き牡丹』の
外伝をまとめた作品です。

プロローグ（前書き）

はじめましての方もいるかもしれませんが、作者の皆麻 兎と申します。

この度は、『犬鬼人随想録 蒼き牡丹外伝』にアクセス戴き、誠にありがとうございます。

当作品は、完結した『八犬伝異聞録 蒼き牡丹』の番外編を収録した作品となっています。

『蒼き牡丹』では主人公である現代の女子高生・三木狭子の視点で描かれてましたが、当作品は、同作品に登場した里見の八犬士や、それ以外の登場人物の視点で物語が進んでいきます。

視点は章ごとに変える予定ですので、宜しくお願い致します。

また、当作品は『蒼き牡丹』を犬士達の視点で一部描いたりなど、多少のネタバレがあります。

『蒼き牡丹』をこー読されていない方は、そちらの方を先に読まれてからこちらを開くのが良いかと思われます。

プロローグ

「現在いまつて…何年？」

今でも思い出せる、その娘の第一声。

某

犬塚信乃成孝は、澁我こがにおわす足利成氏公に

仕官するため、故郷・大塚村から旅を始めていた。

その娘と出逢ったのは、道中を通った円塚山まるつかやまでの山中。道端に倒れていた娘を初めて目にした時、ひどく驚いたのをよく覚えている。

「浜路…?!」

異風の体ていに尼のような髪。見た事のない装束を身に着けていたのにも驚いたが、何より印象的だったのは…故郷に残してきた許嫁・浜路まじと顔がうり二つだという事実だった。

その後、その娘とは澁我へ着くまでの道中を共に旅して一旦別れる事となる。名は三木狭子みぎのさしこといい、姓を持つからにはどこかの武家出身の姫かと思いきや…本人が申すには、500年以上先の世から来たという。

澁我までの道中は、あまりに目新しい出来事が多くてよくは考えていなかったが…この狭子との出会いが、己の生き様を大きく変える運命的な出会いになるうとは、当時は全く考えていなかった某であった

プロローグ（後書き）

いかがでしたか。

このプロローグでわかる通り、最初は犬士の一人・犬塚信乃の視点で物語を進めていきます。なので、第1章が彼の章といつたかんじ？今後の展開として考えているのは、犬飼現八編や犬江親兵衛。悪役だと暮田素藤辺りのを考えています。

それと、本当の意味で言える”番外編”として、『蒼き牡丹』のキーパソンであった少年・染谷純一の物語も書きたいな〜とか考えています。

…それを実行に移せるのかはわかりませんが…

本業も忙しいので、こちらは少しずつ更新していこうかと思えます！さて、次回から第一章に当たる『犬塚信乃編』になると思いますが、よろしく願いします（^^）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9061x/>

犬鬼人随想録 ~ 蒼き牡丹外伝 ~

2011年10月25日01時01分発行